

## 第2回いわきBLSOコース御案内



このたび、病院外や救急外来での急な分娩の対応、また産科救急の初期対応までの能力を身につけたい医療者のためのBLSOコース (Basic Life Support in Obstetrics) を企画しました。BLSOは、病院外・病院前での妊産婦救急を想定した、産科に関する基礎的なトレーニングプログラムです。日本では1年間に734件の施設外分娩事例が救急隊に収容されています (2010年全国消防本部アンケート調査)。また、外傷などで救命救急センターに搬送される妊婦は珍しくはありませんが、とくに大規模災害においては、専門科を問わず妊産婦救急に対応する必要があります。BLSOコースでは、レクチャーとマネキンを使用した実習を行い、妊婦の評価方法、車中などでの分娩介助、新生児蘇生、妊婦蘇生などを1日かけて学びます。

日頃は産科医療に関与していないが、車中分娩や妊産婦救急に遭遇することがある、救急救命士、救急科の看護師・医師、家庭医を主な対象としたプログラムです。

修了者は米国家庭医療学会AAFPとALSO-Japanが認定する5年間有効な認証を受ける事ができます。

- |   |     |  |
|---|-----|--|
| 1 | 日時  | 平成29年6月25日(日) 9時00分から17時30分予定  |
| 2 | 場所  | いわき市消防本部平消防署統合庁舎 4階会議室   |
| 3 | 受講費 | 15,000円  |
| 4 | 主催  | 木村 賢哉 (いわき救友会)<br>「助成：平成28年度公益信託うつくしま基金」   |
| 5 | 共催  | NPO法人 周生期医療支援機構(OPPIC)<br>URL： <a href="http://www.oppic.net/item.php?pn=blso.php">http://www.oppic.net/item.php?pn=blso.php</a>       |
| 6 | 定員  | 18名  |
| 7 | 連絡先 | 木村 賢哉 (いわき救友会)<br>電話 0246-58-9123 携帯 090-9748-3093<br>Eメール： <a href="mailto:kimu0304@khaki.plala.or.jp">kimu0304@khaki.plala.or.jp</a> |

参加者の一般公募はありません。

## 1 受付時提出物及び購入必須テキスト

- (1) 登録完了後 教育提供サイトからダウンロードし、プレテストは受付時提出してください。(提出がない場合受講はできません。)
- (2) 日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく 新生児蘇生法テキスト 第3版  
監修：細野茂春 発行：メジカルビュー
- (3) 病院前救護のための産科救急トレーニング-妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法：新井 隆成監訳 中外医学社

**プレテスト、筆記試験の問題は全て上記から出題されます。**

## 2 受講スケジュール予定

項目	時間	各実施時間
受付	8:30~9:00	30分
オープニング	9:00~9:10	10分
分娩介助	9:10~10:30	80分
新生児蘇生	10:20~11:20	60分
休憩	11:20~11:30	10分
女性傷病者の評価	11:30~12:40	70分
昼食 (写真撮影)	12:40~13:30	50分
症例検討	13:30~14:10	40分
試験案内・準備・休憩	14:10~14:30	20分
筆記試験⇔車内分娩① 実技試験②	14:40~15:40	60分 (移動含む)
筆記試験⇔車内分娩② 実技試験①	15:40~16:40	60分 (移動含む)
クロージング	16:40~17:00	20分

進行具合により、終了時間に変更がある場合もあります。予めご了承ください。

いわき市消防本部平消防署統合庁舎案内

所在地 いわき市平字正内町 22 番地

電話 0246-22-0123 (コースに関する問い合わせは受けません)

駐車場については近隣駐車場を確保予定です。後日ご連絡いたします。

いわき市消防本部アクセスマップ

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1000100000632/index.html>

いわき市消防本部へのアクセス

JR 常磐線いわき駅降車後 徒歩 10 分

常磐自動車道いわき中央インターから 15 分

JR・高速バス 自家用車利用ご案内 URL (いわき市観光情報サイト)

<http://kankou-iwaki.or.jp/access>

